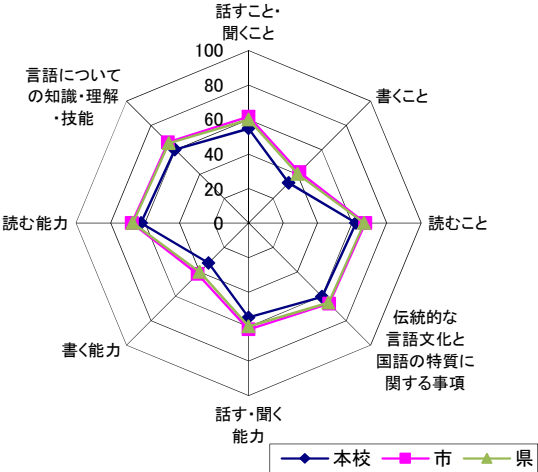


宇都宮市立田原中学校 第2学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	54.7	61.6	59.9
	書くこと	32.8	41.7	40.1
	読むこと	62.3	67.6	67.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	60.3	66.1	65.4
観点	話す・聞く能力	54.7	61.6	59.9
	書く能力	32.8	41.7	40.1
	読む能力	62.3	67.6	67.0
	言語についての知識・理解・技能	60.3	66.1	65.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、県の平均正答率を5.2ポイント下回っている。 ○スピーチの内容を正確に聞き取る問題においては正答率が84.5%とおおむねできていた。 ●スピーチで伝えたいことや、その理由・目的を理解し記述する問題においての正答率が、他の問いに比べて低くなっている。	・授業の言語活動や学校生活の場において、まず「聞くこと」の大切さを意識付けたい。 ・グループでの話し合いや意見交換の機会をできるだけ取り入れて、自分の伝えたいことや相手の意図することを的確にまとめたり、把握したりする力を身に付けさせたい。また、今後も聞き取りテストを定期的実施し、メモを取りながら正確に聞く力を養っていききたい。
書くこと	平均正答率は、県の平均正答率を7.3ポイント下回り、他の領域と比べて低い。 ○カードの内容をもとに、文末につながる形に記述する問題では、ほぼ県と同等の正答率であった。 ●本文の内容を読み取り、その上で条件を満たすように書くという設問において正答率が低く、課題が見られる。	・書くことへの苦手意識や抵抗感を除くためにも、パターン化させた短文から始め、段階を踏みながら、段落や構成を意識できる長文に移行できるような練習を取り入れたい。 ・条件作文においても、合わせて練習を行っていく。
読むこと	平均正答率は、県の平均正答率を4.7ポイント下回っているが、他の領域と比べるとやや高い。 ○読解問題において、短答式・選択式の正答率はほぼ県と同等の正答率を占めていた。 ●字数制限や字数指定の記述式回答問題は正答率が県の正答率をやや下回った。	・説明的文章の段落・構成の流れや、文学的文章における情景や心情の描写・表現の読み取りは、授業の中で随時指導・助言していく。特に説明的文章では、意見と根拠・事例の提示を踏まえた要旨の捉え方が定着できるよう、「書くこと」に結びつけながら読ませたい。 ・日常生活での読書を推進し、自ら文章に積極的に関わりながら、語彙や文章表現に慣れ親しんでいく機会を持たせたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、県の平均正答率を5.1ポイント下回っている。 ○小学校で既習した漢字の読み書きでは、県の正答率と同等、または上回ったものが見られた。 ●同訓異字や漢字の成り立ち・詩の表現技法においては県の正答率をやや下回った。	・漢字や語句の定着率を高めるために、漢字小テストや漢字練習プリントによる練習・補充プリントの活用を、今後も継続していく。また、自主学習による前向きな取り組みが図れるよう、担任と連携して励ましていきたい。 ・漢文や古文への苦手意識をなくすために、基礎的な問題にも取り組ませていきたい。